

日本酒ブランド「SAKE HUNDRED」ブランド概要資料

# 高価格帯市場が存在しなかった日本酒産業において 日本発“グローバル・ラグジュアリー”に挑戦する「SAKE HUNDRED」

低利益の市場構造を変え、産業全体のサステナブルな成長を牽引する

## ■SAKE HUNDRED とは『心を満たし人生を彩る』日本酒ブランド

2013年設立の日本酒スタートアップ株式会社 Clear が手がける高級日本酒ブランド「SAKE HUNDRED」。世界中の人々の『心を満たし、人生を彩る』をブランドパーパスに掲げ、比類なき価値を提供する、2018年創業の日本酒ブランドです。全国の7つの酒蔵(2024年8月時点)と共同開発した8種類の商品をラインナップしています。



ブランドオーナー生駒のテイスティング風景



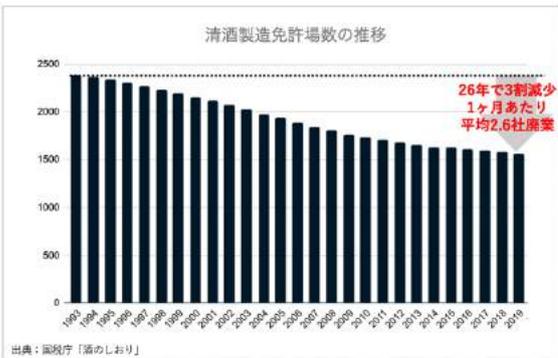
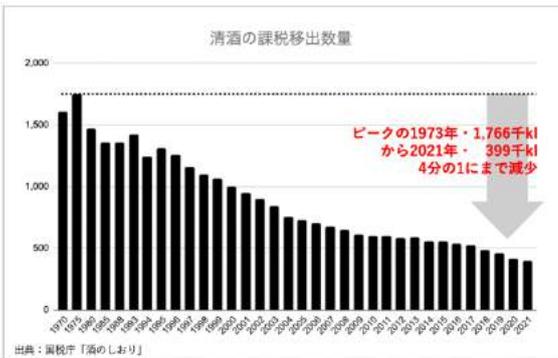
不定期で開催するペアリングディナー



醸造パートナーの楯の川酒造(山形)と生駒

## ■産業全体のサステナブルな成長を目指し、社会課題を解決する SAKE HUNDRED

日本酒の消費量は1973年をピークに現在は4分の1以下にまで減少。100万円のワインがある一方、日本酒は1本2000円前後で取引されるのが一般的で、10万円を超える日本酒は稀。産業全体が低利益の構造から脱却できず、酒蔵は平均して1ヶ月あたり2.6社が廃業しているという課題があります。



SAKE HUNDRED では **1.5万円～26万円の高級日本酒のみを開発**(2024年7月時点)し、グローバル・ラグジュアリーに挑戦しています。日本酒産業において**存在しなかった高価格帯市場を創出**することで産業全体のサステナブルな成長を目指し、社会課題の解決に取り組んでいます。消費量が4分の1になったのなら4倍の価格でも求められる価値を生み出し、お客様に豊かな時間を提供します。

